東京亀城会報

発行所
東京亀城会
東京都港区南青山5-9-12
アイサワビル306号 〒107
阿部鍼一事務所
電話(3400)1151
郵便振替東京 4-24020
発行人　若林義治
編集人　堀　修二
定価　1部150円

25周年記念総会終る
――役員は全員留任――

平成二年度、並びに再建二十五周年記念の東京亀城会総会は十月十二日午後六時から東京都千代田区二番町、番町グリーンパレスぼたんの間で開催され、阿部事務局長の会務報告、土田常任理事の会計報告及び元木会計監事の会計監査報告を受け、全会一致で承認。次いで全員が任期切れとなっていた、会長、副会長、会計監事の選出をおこなったが、全員留任の動議を採択の結果、全会一致で留任が決定した。

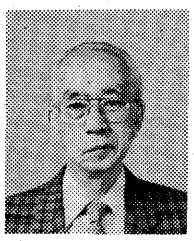
次いで二十五周年記念行事として会のシンボルともなる新に作成した東京亀城会会旗の披露。小松最高顧問に、永年にわたる会への貢献に対する感謝状と、記念品として佐藤昌祐画伯（副会長）作成の『胡蝶蘭』（油絵八号）を贈呈して総会を終了懇親会へ入った。（関係記事八面）

重任された役員は次の通り。

会長　若林義治氏（十二回）
副会長佐藤昌祐氏（十三回）
〃　内山敬司氏（十五回）
〃　越後谷悦郎氏（十六回）
〃　北村総一氏（二十回）
〃　大川龍太郎氏（二一回）
会計監事元木　徹氏（四二回）

十一号発行のごあいさつ

東京亀城会会長　若林　義治



昨年度総会は東京亀城会再開二十五周年記念総会として皆様のご尽力により記念行事も成功裏に終了いたしました。

眞にありがとうございました。

本年十月には、庄内空港開港とわが郷土にとって画期的な年となりました。わずか一時間という空の便が確保されわが東京亀城会の会是として来た故郷・母校との連帯が益々緊密化されることになり、まことに喜ばしいことで、東京～酒田十数時間という、敗戦直後のことを考えると隔世の感です。

ふるさと庄内も、ようやく全国並みの景気上昇の波に乗ったとのことですが、今度の空港開設、更に数年後に予定されている、高速自動車道路網の完成とあいまって益々の発展を期待したいものです。

折しも、東西緊張がゆるみ、対ソ関係の改善が大きな話題となって来ました。この日本海新時代が港町酒田に及ぼす影響は見逃すわけには行かないと思います。

諸条件の好転とともに今後大いに注目される国際的拠点となった酒田、北庄内地区の将来を見守って行きたいと考えます。

昨年の総会において、健康上の理由で固辞いたしましたが、再任されてしまいました。会長代行、副会長の皆様の多大のご助力により、なんとか会発展のため微力ながらも尽くす所存でございますので、会員の皆様のご協力ご助言をお願いいたし、十一号発行のあいさつとさせて頂きます。

ごあいさつ

校長　五十嵐　敬司

このたび、新しい酒東の隆昌の時代を築かれた前校長、五十嵐千秋先生の後を突然、引き継ぐことになりました。

昭和五十一年から十年間の酒東での勤務の経験を活かすとともに、以前からお世話になっている多くの方々に、再び緊密な連携をお願いしながら、母校の発展のために微力を尽したいと念じておりますのでご理解・ご支援をお願い致します。

さて、東京亀城会のご盛会ぶりは、かねてから有名であり、在京の皆様方のそれぞれの分野でのご活躍に、心から敬意を表します。本校が社会の指導的な立場に立てる人材の育成校として、昨年度七十周年を迎え、盛大に記念式典を祝うことができたことを喜ぶとともに、これまでの母校に対する皆様のご声援や多大なご後援に、厚く感謝を申し上げます。

いま庄内は、空港開港が目前、また高速道整備計画も進んで、まさに激動前夜の状況にあります。

しかし一方では子どもの数が減り、平成十年には、酒田・飽海地区だけでおよそ一学年で四五〇人もの高校生が消える、との予測もなされ、地域の各高校のありようが話題にのぼっています。こうした中で本校には、旺盛（おうせい）な学習意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる、優れた指導的人材育成校としての役割が、さらに強く求められましょう。こうしたに努力を続けております。

この三月の卒業生は、東大・京大などを含んで、国公立大学一二三名現役合格の新記録を達成し、また今年度の静岡インターハイには四つの部が出場、うち新体操個人種目で全国優勝をなし遂げるなど、文武にわたる成果をあげつつあります。

こうした実績をさらに引き継ぎ、伸ばすためには、しっかりした目的意識と、東北人特有の不屈の忍耐心・向上心を計画的に育てることが、とくに大切と考えます。こうしたことから、今、酒東には生徒諸君の将来目標の形成や、学習意欲をかきたてるのに役立つ情報が、とくに必要になっています。

東京亀城会の皆様方からは、すでにこのことの十分なご理解のもとに、多大なご支援をいただいております。これは本校教育にとって特筆すべき強みであり、深く感謝申し上げるとともに、今後一層のご支援をお願い致します。

亀城提言

「当たらずといえども遠からず」という言葉があります。多数の意見や行動は正確でなくても、真実に近いことが多いものです。

何年か前、酒田の駅前に「おしん」の像が立ったことがありました。東京亀城会での会合でも話題になりましたが、「恥ずかしい」というのが多数の意見でした。この像がなくなった現在、なんかほっとした気分です。

ところで一月の末、酒田へ行ったら「寒鱈祭り」というのをやっていました。見たところさっぱり盛り上がっていませんでした。後で地元の友人に聞いた話では「酒田の海もさっぱり鱈が取れなくなり、祭りで使う鱈はほとんどが北海道もの。それは市民もうすうす知っている」というのです。同行した友人の手前もあって顔が真っ赤になりました。

酒田の「寒鱈祭り」といえば、だれもが庄内浜で取れたものと錯覚します。もし北海道産だとしたら、あまりにもインチキくさい話で、祭りが盛り上がらないのも道理です。

そのとき友人を地元の美術館に案内しました。常設展示でしたが、正直いって何も見るものがありませんでした。そしてなにより驚かされたのは、一時間ほどの間に会った他の見学者が二人だったことです。

「見るものがある、ない」は見解の相違もあります。しかし、実際に見学者が少なかったというのは、見解の問題ではありません。いくら関連企業倒産の後遺症があったとしても、地元の人も足を運ばぬような展示ではやはり魅力がないのでしょう。

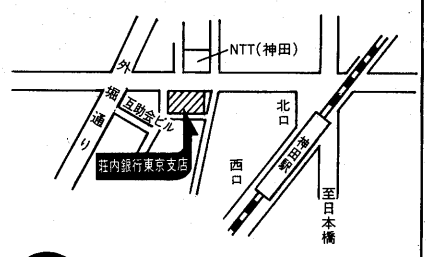
また六月に土門拳記念館に行きましたが、ここも入館者は多くありませんでした。料金は高くてもよいから、もっと中央からも人が呼べるような工夫が欲しいものです。それにしても咲き始めたアジサイがとても奇麗で、鑑賞している人たちも結構おりました。

そして五月と六月には庄内空港の建設現場を訪れました。五月は東京からの同行者が七人、六月は三人いましたので、それぞれ感想を聞いてみました。「話の種に一度は乗ってみたいが、所要時間や風による欠便を考えると実際には使いにくい」というのが、大方の意見でした。

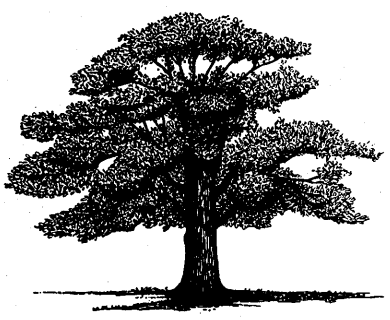
五十嵐儀勇（㈱開発ピーアール社社長、二五回卒）氏が就任した。

五十嵐敬司新校長は、昭和二十七年酒田高校卒業後、山形大学農学部卒業、県下各高校を歴任、理科生物学を担当した。特にカブトエビの行動生態の研究を中心にした湖沼生態学の権威として全国的に著名な存在。昭和五十一年から昭和六十一年三月まで、母校に在職。

東京亀城会第二代会長
東京亀城会最高顧問
小松小児科医院
医師
小松直幸
（大正一五年卒業）
荒川区東日暮里三―二九―一二
電話　三八九一―五四二六

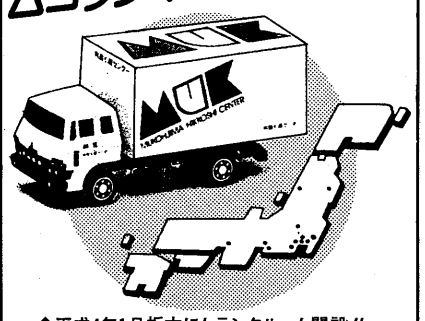
ふるさとの銀行


まごころを大切に
荘内銀行 東京支店
千代田区内神田二丁目16番9号　TEL.3256-8911

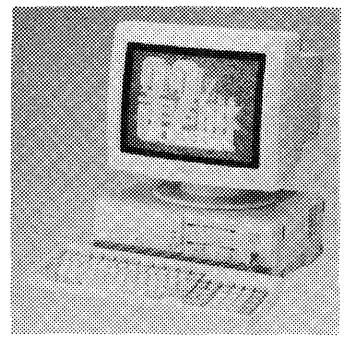

㈱前田製箔株式會社
取締役社長　前田直己
本　社　山形県酒田市上本町6番7号
TEL.0234(23)5111
東京支店　江東区東陽3-23-21(東陽ビル)
TEL.03(3649)7021

ふる里の味……
庄内米
just MADE

●庄内米のお問い合わせは
本所　山形県酒田市山居町2－3－8
☎(0234)26-5374
東京事務所　東京都千代田区内神田3－5－5
大同ビル401　☎(03)3254－1456

全国発、全国へ
お引っ越しならムコウジマ引越センター


◆平成4年1月栃木にトランクルーム開設!!
●お申し込み・お問合せは
見積り無料　いいないいなムック
0120 FreeDial 0120-171769
向島運送株式会社
本社／〒131 東京都墨田区堤通2-12-2 TEL03(3614)6771
従業員募集中　ご応募の方は本社総務部宛お電話を

EPSON

SEIKO EPSON GROUP
東北エプソン株式会社
〒998-01 酒田市十里塚166番地の3　☎(0234)31-3131
FAX (0234)31-3145
従業員募集中　ご応募の方は本社総務部宛お電話を

悲願の庄内空港開港

計画から十年目
十月一日ついに一番機

昭和六十三年六月から、本体工事を開始、平成三年六月には付属工事の無線・照明工事も完成。十月一日には庄内住民と関係者の待望の一番機が飛ぶことになった。

高速自動車道、新幹線もなく、日本の孤島。東京より一番遠い十万都市とまでいわれた庄内地方に空港をという願いは「百円募金運動」や「署名運動」などが実を結び、昭和五十七年、酒田、鶴岡市境の現在地に決定。一部地権者を中心とする「空港を考える会」の反対運動も昭和六十三年六月に終結、全面的工事に着工された。このため、当初一九九二年四月一日に予定された開港予定も工事の伸展により、七ヶ月も早まり今回の開港となった。

しかし、東京＝庄内三往復、大阪＝庄内二往復の要望は、羽田空港、大阪空港の離発着のラッシュのため、全日空の各一往復の路線開設が許可されたのみとなったため地元や、在京関係者の中から不満の声があがっているが、利用客の増加と、羽田、大阪の空港が整備されれば増便が可能と考えられるため地元を中心に利用客増加と合せてチャーター便による誘致などのキャンペーンを企画するとか…。

庄内空港で慣熟飛行のエア・バス（酒田市企画調整課提供）

		東京～庄内線	大阪～庄内線
使用機種		A320—200型機（166席）	
運航便数		1日1往復	
ダイヤ		東京発 08：55 庄内着 09：50 庄内発 10：25 東京着 11：25	大阪発 11：45 庄内着 12：55 庄内発 13：30 大阪着 14：55
運賃	片道	13,650円	22,350円
	往復	24,740円	40,400円

…。

運賃は、酒田—東京の場合はJR普通席新幹線とほぼ同額なので利用者が多いと見られている。

九月七日、開港を前に全日空パイロットによる慣熟飛行が行われ、同時に用地を提供した地権者や空港標語で最優秀賞に入選した小学生など三百二十人が山形市、新潟市を回る五十五分間の体験飛行を楽しんだ。

ソ連の激動と庄内

阿部　昭吾（二三回卒）

ソ連共産党が解党の局面に立っている。一九五七年、私は新潟から船でナホトカに渡りシベリヤ鉄道を九日間、モスクワに旅したことがある。世界青年学生平和友好祭に日本農村青年代表団々長としてであった。当時はスターリンが死んでマレンコフからブルガーニン元師が首相で、折しも河野一郎農相が病身の鳩山一郎首相を擁して日ソ共同宣言を調印した直後の頃であった。

私はソ連のコルホーズ、ソルホーズ、ソ連農業の視察をさせろと迫って渋々ながら見せてもらった。広大な農場の作物の出来は問題にならない程悪かった。ところが住宅周辺部に三十～五十アール、小区画に囲った農場の馬鈴薯も玉ねぎもキャベツも青々と実に良い出来だったので驚いて「あれはなぜ。」と尋ねたら「農場員個々人の自留地で自由市場に売って個人の収入にする。」ということだった。

若い私は、このときから共産主義の社会、市場原理を全く否定した経済運営は行き詰まる。特に共産党員と官僚が特権階級になって、のさばっているソ連社会、帝政ロシア貴族社会を打ち破ったレーニン革命だったが、新らたなる根本矛盾に逢着している。と痛感することになった。今日のソ連の局面は、その総決算のときなのであろう。

私は今日の両側社会もまた重大な局面にあると思う。私は中国や社会主義共産圏の人たちに言い続けてきた。「今日の日本がマルクスが資本論などで書いたような資本主義の社会そのものだと思ったら大間違いだ。根幹的なドえらい問題は数多く存在はしているが健康保健、労災保健、雇用保険制、住宅政府融資やローン制度、年金や生命保険、損保制度、政策制度事業金融資制、そして独禁法等々、社会政策手法が、野党や労働組合や民衆の主張が数多く採り入れられている。

もちろん今日の証券金融不祥事件や土地バブル、リクルート、ロッキード等々、社会的公正と民主主義存立の土台をゆさぶるような腐敗事件が繰りかえされてはおりながらも、日本の民主主義は着実に発展しているのです。」といい続けてきた。

しかし、とはいいながら私は、ひるがえって我が国政治の問題点は何か、我が国民主主義の課題は何かということについてです。この四十数年間、保守一党政治が継続されていて、何が起ころうと政党間政権交代が行われない。

その展望も可能性も存在させ得ていない。ということだと考える。西欧諸国から日本異質論や日本ウス気味悪論など底流しているのは正にここにあると思う。

十月一日、庄内空港から一番機が飛び立つ。変貌する対岸のロシアと、我が酒田港の往来をいかに広げるか。ウラジオ経由ハルビン行き空路などもアプローチしなければなりません。我が国ローカル空港が国際便を飛ばす動きは急を告げ始めた。（衆議院議員）

べにばな国体会場

平成四年、夏季、秋季におこなわれる愛称〝べにばな国体〟第四七回国民体育大会は、村おこし、町おこしの願いも込めて、全県あげてのキャンペーンを開始しているが、一市町村最低一種目の競技場を持つというユニークな運営方法に、国体後の住民生活の基盤整備と地球の活力づくりに生すという方針が受け入れられてか、各地区で盛り上りを見せている。酒田市では今年五月、ラグビーフットボール地元でおこなわれる漕艇、テニス、バレーボールのリハーサル大会は成功のうちに終り本番を待っている。

庄内での主な各市町の競技会場は次の通り。

酒田市＝漕艇（夏季）—最上川漕艇場、テニス—光ケ丘庭球場・国体記念テニス・コート。ラグビーフットボール—飯森山多目的グランド他。バレーボール—国体記念体育館。

平田町＝綱引—南平田小学校

遊佐町＝バレーボール—町民体育館

八幡町＝バレーボール、町体育館

松山町＝家庭婦人バレーボール（夏季）町民体育館

余目町＝バレーボール—町総合体育館

立川町＝グラウンド・ゴルフ公園内公認コース

三川町＝サッカー、三川中学校グランド

藤島町＝壮年ソフトボール（夏季）—藤島中学校グランド

鶴岡市＝サッカー、小真木原陸上競技場、相撲—小真木原総合体育館、アーチェリー—小真木原特設競技場

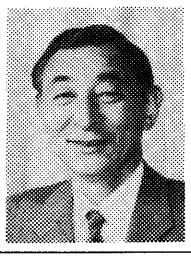
羽黒町＝ウエイト・フテイング—町民体育館他

温海町＝ヨット（夏季）—鼠ケ関マリーナ

地方選結果

酒田市長、市議選結果

四月におこなわれた統一地方選挙では、各選挙区で同窓生の活躍がみられたが、酒田市長選では、**大沼昭氏**（二三回卒業）＝写真、大谷良雄氏（二三回卒業）と同窓生同士の戦いとなったが全有効投票の過半数三、五一五票を獲得した大沼氏が二氏を退け初当選した。



大沼氏は昭和二十二年、旧制酒田中学校卒業。旧制仙台工業専門学校土木工学科（現東北大学）卒業、山形県庁に入り土木畑を歴任、庄内支庁河川砂防課長就任後、酒田市に入り土木課長、収入役を経て今回初立候補した。

酒田市議選は定員三十二名に立候補三十五名の少数激戦となったが現職二十四名、新人八名が当選。亀城同窓会々員は次の七氏。

（下の年度は卒業年度）

古沢　坦氏（昭和一三年）
家坂徳久氏（昭和一〇年）
佐藤和雄氏（昭和一九年）
渡部貞博氏（昭和三三年）
斎藤勝郎氏（昭和三六年）
佐藤藤弥氏（昭和三七年）
三笠喜美夫氏（昭和四五年）
（卒業年度順）

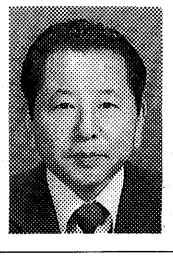
なお、当選四期目の**家坂徳久氏**＝写真、は、副議長に就任した。

△

会長代行に内山副会長

会長病気療養中のため、内山敬司氏が、会長代行として職務をとることになった。

佐藤悦彦氏当選



東京地方では亀城会員ただ一人の地方自治体の議員である板橋区区議会議員佐藤悦彦氏（二七回卒）が見事四期目の当選を果たした。

佐藤氏は平田町出身、明治大学卒業後、板橋区役所に奉職。その後区議に転身、現在区議会総務委員長。東京都環境衛生協会議長・自民党本部同志会理事の要職にある。

酒田市長
大沼　昭
（昭和三年卒業）
山形県酒田市本町二丁目一—四五
電話 〇三四（二三）五一一一

社団法人 日本歩け歩け協会会長
（財）日本インドネシア協会常務理事
（財）東洋医学国際研究財団副会長
（財）日本ユース・ホステル協会常任顧問
金子智一
（昭和七年卒業）
世田谷区上祖師谷三—一—一五
電話 三四八三—二〇八七

西荻中央病院
院長 村上冨吉
（昭和九年卒業）
病院 杉並区西荻北二—一五—五
電話 三三九六—三一八一(代)
自宅 杉並区高井戸西一—一六—三九
電話 三三三二—九九六六

セイコーエプソン株式会社
取締役会長 中村恒也
（昭和十五年卒業）
〒392 長野県諏訪市大和三丁目三番五号
〇二六六—五二—三一三一(代表)

株式会社 梓設計
代表取締役会長 北村総一
（昭和一九年卒業）
品川区西五反田二—二七—三
電話 三四九二—三五九一

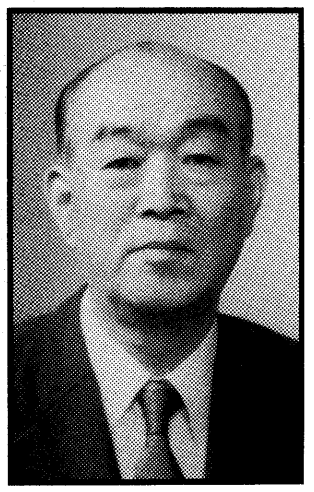
株式会社 シンクロン
代表取締役社長 成田敏雄
（昭和一九年卒業）
品川区南大井三—二—六
電話（三七六二）七四一二

粉末冶金製品—
含油軸受・機械部品
東北唯一の焼結金属工場
三友特金株式会社
代表取締役 高橋重雄
（昭和二四年卒業）
本社 目黒区上目黒一—三—九
電話 三七一九—五四二一
山形工場 遊佐町大字藤崎字茂り松二番
電話〇二三四（七五）三三二一

株式会社 開発ピーアール社
代表取締役 五十嵐儀勇
（昭和二五年卒業）
中央区新川一—三一—八
電話 三五五二—八三八七
自宅 電話 〇四七三（五六）六三二七

佐藤弘一氏

（十八回卒）常任理事



当会再建以来、常に会運営に有形・無形の寄与貢献を頂き、また当会のマス・コミ関係者の指導的、象徴的な立場にあられた常任理事佐藤弘一（さとう・ひろかず）氏が、平成三年二月十五日、脳梗塞（のうこうそく）による心不全のため、東京都北区上十条五丁目六ノ十四の自宅で死去されました。享年六十七才でした。

大正十三年二月十四日山形県最上郡に生れ、昭和十二年四月酒田中学校入学、十七年三月卒業、二十三年三月、日本大学農学部農業経済学科卒業。同年四月河出書房入社、河出書房新社を経て鹿島出版会常務取締役、文一総合出版専務取締役を歴任、五十六年八月弘生書林を設立代表取締役に就任した。

大学卒業以来、一貫して書籍編集者としての道を歩まれ、「日本歴史講座」を初め、「図設日本庶民生活史」「日本歴史大辞典」など河出書房の大作シリーズの編集に直接携わられ、鹿島出版会では「社会科学大辞典」の企画とその総合的指揮を取られた。多忙な職務の中で、同郷、同窓の後輩者への指導、気配りは抜群との定評があり、亀城会の役員会やマス・コミ関係者の会合には必ず出席なされ、適切なアドバイスを頂いていた。

出身大学の日大農学部（現在農獣医学部）の第一期卒業生だった関係もあって、同大の評議員農学部の同窓会長を勤められ、同校舎建築のため、多大の尽力をなされた。

葬儀は、二月十八日板橋区宗仙寺で告別式がおこなわれた。墓所は、酒田市相生町二丁目三ノ三十三海晏寺内法名誠徳院弘學證道居士。ご遺族は妻恵子さん。母ヒサさん。

「またの会う日を」

大滝　広治（二三回卒）

佐藤さんには、まさにこれから、同窓の後輩たちを指導し、説教し、世話もやいてほしかったと思う。氏はそういうことのできる数少ない先輩のひとりだった。

佐藤さんの経歴や業績については他の項に書かれていると思うので、私は鹿島出版会で十年間、氏の部下として働いた酒中の後輩として、きわめて個人的に氏を追悼させていただきたいと思う。

佐藤さんは酒中の先輩であると同時に、私にとって編集者あるいは出版人としての先輩であった。二十数年前、私は地方の出版社勤務から、本場の東京の出版社にあこがれて、名簿をたよりに先輩を訪ね歩き、ようやく出会ったのが佐藤さんだった。鹿島建設の子会社だと聞いて、仮設事務所の片隅で業界関係の本でも細々と出しているのだろうと思って訪ねたら、会社は白い柱に黒いガラスばりの瀟洒（しょうしゃ）なビルで、悠然と現われた佐藤さんが、バリッとして、いかにも青年実業家の風ぼうであったのにはびっくりした。

すでに高度成長期に入っていた当時の、世の中の激変を知らなかった私のイメージの貧しさには、われながら驚く。私とは違って、佐藤さんは戦後間もないころから典型的出版人であった河出孝雄氏に仕え、一流著者の薫陶を受け、軟派硬派の編集者たちにもまれ、出版社の浮き沈みも十分体験されていた。かくして佐藤さんは、いい著者のいい本をつくりたい、いい本は必ず売れるという信念を培われ、自ら「日本歴史」「社会科学」という得意の分野を拓き、大型企画から単行本までを精力的に出版し続けた。

取締役編集局長であった佐藤さんの一声で私は『社会科学大事典』の編集部に入れてもらった。無事同事典全二十巻の発行を済ませ、その後「建築関係」の編集者としてまがりなりにも全うできたのは、先輩のおかげである。佐藤さんは、人に私を紹介する際に必ず「ぼくの中学の後輩で…」と言ってくれた。同郷の人間を引き立てるのを妙に遠慮しがちな酒田の人の性（たち）を超えていた。もっと長生きして、事業を発展させ若い後輩の面倒を見てもらいたかった。

「四十数年前、『日本歴史講座』の編集会議の末席に、紅顔の佐藤君が目を輝かせていたのを私は覚えている」―告別式での奈良本辰也先生の弔辞は悲しかった。佐藤さんは学者ではなくても、歴史家であったと私は思う。そして歴史家も時代の子であった。氏は、昭和という時代に生涯の軌跡をくっきりと残された。

このごろ私は、あの世では先に死んだみんなに会えるような気がしている。いずれ私も彼の地に行ったら、佐藤弘一先輩とはまたゆっくり酒を飲みたいと思う。

（住宅生産振興財団）

佐藤甚蔵氏

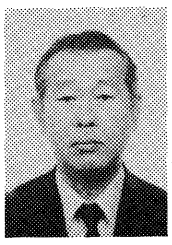
（一回卒）

再建頭初、同窓生の検索、名簿作成、総会懇親会の運営、亀城同窓会本部・母校との連絡交流など、当会の基礎造りに献身的な努力をされ、その人格と指導力から、会の最長老として多年にわたって、会員一同から慕われていた第一回卒業生の顧問佐藤甚蔵（さとう・じんぞう）氏が、平成二年十月五日死去されました。享年八十四歳でした。

明治四十年八月十八日、現在酒田市宮海に生まれ、大正十四年三月酒田中学校、昭和九年三月九州帝国大学法文学部経済科卒業。東京市、宮城県庁などに勤務の後、二十九年五月日本短波放送の創立に関与、同社各部長を歴任四十年退職。設計会社を創立したが五十年以降は趣味の旅行、登山などと自適の生活を楽しんでおられ、特に能書家として知られ、当会報の初号より十号までの題字の原本は同氏の執筆のものであった。墓所は所沢聖地霊園三十区一側三号法名善勝院壽徳甚蔵居士。ご遺族は長女吉田和子さん。

東京と庄内

池田教一郎（二九回卒）



庄内のことしの夏はなかば過ぎまで長雨でさんざんでした。こんなに雨の日が続くなら夏休み中は本でも読んで過ごそうかと考えていましたが、休みに入ったとたんに天気が良くなり、読書もほどほどで終りました。晴れた日は畑を耕し、雨の日は読書する「晴耕雨読」ということばは、いまでは若い人たちには死語になったようです。わたしは「晴耕雨見」といってます。

休日は晴れたらドライブ、雨ならばテレビやビデオを見るからです。若い人が本を読まなくなったのは、困ったものです。

ところで東京ではサラリーマンは、帰りがけに時々同僚や上司と赤提灯などで一杯やり、会社や上役の悪口を言ったりしてウサを晴らす。よその会社にくらべて給料が少しよいからまあ我慢しようとかなんとか、それがガス抜きになっているわけです。だが、庄内ではこれができません。日常、部下と一杯などということは至難の業です。彼らは車で通勤しているので、一緒に飲むとなったら相当の覚悟がいります。代行車ならまだいいほうで、時には旅館に泊らせなければならないからです。

庄内の人はおとなしいので、会議でもあんまり発言もなく、ふだん一体何を考えているかわからない人が多いのです。忘年会、新人歓迎会や旅行など年に何回か飲む機会になると別人のようになり思いがけないような本音を言う人がいます。昼間の会社の中でだけでは部下のほんとうの腹の中がわからないから東京でのような夜のつき合いも必要に思います。

わたしは、十のうち三が不満があっても七が良しとするならば、経営者や上司も社員に対してお互いによい意味での緊張感を持ち、健全な企業であると考えます。少しも不満や批判する人のいない会社は、無気力か馬鹿だけの集まりだからです。わたしはこれを「三・七の理論」と言っております。

庄内はここ二・三年の間に急に人手不足になりました。ことに高卒の新人が足りません。今や金の卵ではなくてダイヤモンドになりました。寄ると触ると人手の話です。近々庄内空港が開港するせいかどうかわかりませんが、工業団地の造成企画がずい分あります。すでに造成の鶴岡西工業団地はもう満杯だそうです。庄内の人口は三一万八千人しかおりません。企業の必要とするのはその中の若年労働者です。しかも平成五年度以降、新卒の高校生の数は確実に減っていくそうです。数年先には、力のない企業、特に地場企業は多数人手不足倒産に見舞われるでしょう。進出しようとしている企業が必要なだけの人員を連れてくるならばよいですが、そうではないと思うからです。

山形県は、青森県についで賃金が低く、沖縄県についで労働時間が長いところです。労働条件が全国でも最低の県なわけです。その上、土地の値段が安いから企業がやってくるわけです。庄内空港の開港で庄内の活性化には、空港周辺に企業の誘致で工場団地の造成をというわけなんでしょうが、いささか計画があまいように思います。

庄内では、高卒求職者の地元定着率が六六・六%で毎年上昇しているそうです。学校や職安関係者の中には、地元出身者は地元に就職するのか望ましい、七〇%以上にするんだと言っている人もいるようですが、わたしは、その気持ちはわかりますが賛成しません。

鳥が巣立ちするように、人間以外の動物はやがては親離れをします。人間も動物です。本来はそれが自然なんだと思います。ある先生のお話では、子供が地元に就職したくても、親が四・五年は東京などの都会で生活させたいと子供にすすめる例が結構あるんだそうです。昔からかわいい子には旅をさせよ、ということわざがありますが、これが親の本能だと思います。庄内の人はおとなしいだけに、なおさら、井の中の蛙にならないよう、いろいろな場所に出かけて行き、何年後に戻れる人は戻ってくる、これが活性化につながると思います。

せっかく、空港ができるのですから、もっと庄内の良さをPRすべきです。最近和歌山県がテレビ・スポットを流して話題になりましたが、庄内もまけないでやったらどうですか。若い人の間で、Iターンということがはやりだしたそうですが、よその人たちが観光やビジネスで庄内を訪れるだけではなくて、そういう人が庄内にほれて定住するような施策、これこそが、ほんとうの意味でこの地の活性化につながるのだと思います。

（シンクロン鶴岡）

酒田地区高校同窓会住所

◇酒田商業東京同窓会　会長伊藤善市氏、東京都目黒区東山三―二二―七―四一〇、米山氏電話〇三―三七一九―三二七六。

◇有煒同窓会東京支部（酒田西高、酒田高女）　会長小野タケ江様、東京都新宿区高田馬場四―二四―一電話〇三―三三六二―三六六一。

◇酒田中央高校同窓会関東支部　会長小野寺多喜子様、川崎市宮前区野川三〇〇七―一五電話〇四四―七六六―八九四一。

◇酒田北高同窓会東京支部　会長小野正美氏、東京都豊島区長崎五―五―九電話〇三―三九五九―五〇三三。

◇酒田工業同窓会東京支部　会長高坂征男氏、東京都品川区東五反田四―七―六電話（〇三）三四四五―三八四七

◇東京余目会　東京都板橋区清水町十二―四阿部竹司氏、電話（〇三）三九六三―一八三四

◇東京平田会　東京都中央区銀座一―七―六タンザワビル、堀廣士氏電話（〇三）三五六四―〇一七三

◇在京松山会　東京都保谷市下保谷三―七―十四高橋浩氏電話（〇四三）二一―九四六六

郷土会住所

大亜真空株式会社
代表取締役社長　池野伸一（昭和二五年卒業）
八千代市大和田新田四九五　電話〇四七四―五九―五三一一

日本水工設計株式会社
代表取締役社長　伊藤俊美（昭和二五年卒業）
〒104　東京都中央区勝どき三丁目十三番一号　フォアフロントタワー　電話〇三―三五三四―五五一一(代)
事務所　東北・東京・名古屋・大阪・広島・九州

東清株式会社
代表取締役　金湖東吉（昭和二五年卒業）
大田区大森北一―五―一　大森海上ビル三階　電話　三七六一―七七八八

ビル総合管理
中央管財株式会社
代表取締役　松田勇（昭和二五年卒業）
本社　中央区日本橋人形町三―一一―七　山西ビル　電話　三六三九―〇五二三

佐々木整形外科病院
院長　佐々木章（昭和二六年卒業）
青梅市師岡町三―一九―九　電話〇四二八（二四）一一九九

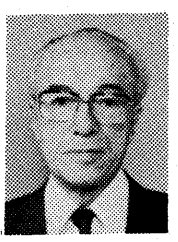
市原地所株式会社
不動産土地建物売買仲介　千葉県知事（7）第二五七九号
代表取締役　菅原義郎（昭和二八年卒業）
千葉県市原市五所一七二六　電話　〇四三六―四一―一七九一　FAX　〇四三六―四一―一七九三

医療法人愛慈会　西佐倉病院理事長
医学博士　池田浩（昭和三三年卒業）
千葉県印旛郡印旛村岩戸　京成成田線臼井駅印西行バス　西佐倉病院入口下車　電話〇四七八（九九）〇二六一

税理士　飯野紘（昭和三四年卒業）
〒102　千代田区三番町七―五　コーポ麹町二〇七号　電話　三二六一―〇六九一(代)　FAX　三二六一―〇六五五

酒田よ、ありがとう　(4)

佐々木勘次郎（九回卒）



八月中旬、厚生省は「平成二年簡易生命表」なるものを発表していた。これによれば日本人の平均寿命は男性が七十五・八六才、女性が八十一・八一才とある。酒中九回卒の私共はほとんどこの平均寿命に該当する年齢の者でありかく申す私もこの七月に満七十六才を迎えたばかりなのでこの表にいたく興味をそそられ、男子の「余命」というところを見てみた。すると七十五才の男子は、余命いくばくもないどころか九・四四年とある。

実は六月末から七月一ぱい病院生活を送り、いまだに体がふらついている私にこの表は、「お前のいのちはまだ十年近くあるのだから、あまりくよくよするんぢゃないよ」と語りかけてくれてるような気がし、ついペロリと舌を出してしまいそうなところがある。しかし、現実はもっと厳しく、「男のいのちは七五・八六才なのだらかね」と動かぬ証拠を突きつけた、というのが本当のところのような気がし、一瞬寒気がした。

十五・八六才、女性が八十一・八一才とある。酒中九回卒の私共はほとんどこの平均寿命に該当する年齢の者でありかく申す私もこの七月に満七十六才を迎えたばかりなのでこの表にいたく興味をそそられ、男子の「余命」というところを見てみた。すると七十五才の男子は、余命いくばくもないどころか九・四四年とある。

実は六月末から七月一ぱい病院生活を送り、いまだに体がふらついている私にこの表は、「お前のいのちはまだ十年近くあるのだから、あまりくよくよするんぢゃないよ」と語りかけてくれてるような気がし、ついペロリと舌を出してしまいそうなところがある。しかし、現実はもっと厳しく、「男のいのちは七五・八六才なのだらかね」と動かぬ証拠を突きつけた、というのが本当のところのような気がし、一瞬寒気がした。

我々ぐらいの年代になれば、嫌でも現実の厳しさや冷たさに直面せざるを得ない体験を幾つも持って現在に至っている訳だが、今年になって私は何十年も付き合ってきた友達を二人も失うというつらい経験をした。

五月十二日に亡くなったK君は私が酒中出身ということを知ったとき「酒の中学とはまたバカにイキな名前の学校ぢゃないか。俺も入りたかったな。」とか「酒中はいいとして、お互いアル中にはならないようにしようや」などと言っては呵呵大笑（かかたいしょう）したものだった。

酒を愛し友を大事にする男だった。そして年は七十六才と三か月。もう一人は昭和十九年以来の友人で年は私より三才程上。都立戸山高校の先生や亜細亜大学の先生をやっていた人。私の入院中の七月十四日に亡くなったため、私のショックは一層大きかった。

穏やかなタイプながら芯の強いところがあるのを知っていたものの、奥さまからのお知らせに「夫の遺言により、遺体は慶応大学医学部に献体し、告別式などは行わず、家族のみで慰霊、供養を行います。またご香典は固く拝辞いたします」と書かれているのを読み、何かで頭を打たれる思いであった。

病院は死について思考する最適の場所の一つだと信じ、その後沈思もし、黙考もしたつもりだったのだが、結局、明快な結論も出せないまま退院してしまった。「吾いまだ生を知らず。いづくんぞ死を知らんや」などという言葉がどっかにあったからかもしれない。

私は所定の所に、その日学校であったことなどを、中心に記録や感想を書きつけたものと二冊になる。すると今度は、提出用のものは手を抜くというわけではないにしても、何かよそよそしくて血の通わない形式的帳簿みたいなものになってくる。そこで私は、学校生活の記録のようなものと並べて、毎日の新聞の論説やコラムの要約を記すことにした。これは四年のときかもしれないが、じぶんとしては一応満足していたのに、担任の先生の気には入らないらしく、一度注意を受けたことがあった。「あれは日誌ではない」と。

二重日誌

今考えると、酒中時代は体もよく伸びたが、心も随分成長したように思う。私の場合家庭事情がいささか複雑だったため、心がいつも晴れず、「自分は世界一の不幸者」などと思いこんでいたようなところがあった。年が若く、世の中や人のことが分からず、狭い自己中心的な見かた、考えかたしかできないことが原因なのに、そのことに気がつかず、暗い穴の中にこもって出ようとしないのである。

そうした自分の姿に気づかせ、穴の中からはい出そうという気にさせてくれたのが、日記であり、新聞であり、聖書と教会であった。

あの頃学校では、生徒が毎日日誌を書き、一週間ごと？に担任の先生に提出することを義務づけていた。日記帳は学校が決めたもので、一頁を上下に二分し、二日間のことを縦書きで記すようになっていたと思う。あるいは記憶違いもあるかもしれない。

日誌をつけているうちに、それが楽しくなってきた。しかし、その反面、目に見えない制約のようなものを感じてきた。そこで私は一冊のノートを買ってきて、これを「気楽日記」と名付け、他人に見せない日誌にし、自分の言いたいこと、叫んでみたいことなどを誰にも気兼ねせず、気楽に書くことにした。もちろん書くことがなければ書く必要もないわけだから、肩を凝らせることもない。あとで感じたのだが、日記をつけることは自分の穴の中から出る作業であり、同時にストレス解消の妙薬である。

その代わり、ひとに見てもらいハンコをもらう提出用の酒田の教会へ月に一、二度出かけたことも心の成長には随分役立ったように思う。それまでの私は蛸満寺（かんまんじ）を仲立ちにして曹洞宗には触れていたものの、キリスト教は異国の教えにすぎなかった。聖書を開き、マタイ伝の最初に出てくる「キリストの系図」という部分には正直いって退屈し、閉口した。

しかし、「己が部屋に入り、戸を閉じて、隠れたるにいます汝の父に祈れ」とか「天にまします我らの父よ」などの言葉は、血を分けた父、戸籍上の父、育ての父と三人もの父を持つ私の頭をすっきりさせ穏やかなものにさせてくれた。「幸いなるかな、貧しきものよ、神の国は汝らのものなり。」とか「幸いなるかな、今泣くものよ、汝ら笑うことを得ん」などの「山上の垂訓は、これまでの価値の転換を示してくれ、ものの見方や考え方にもいろいろあることを教えてくれた。私の内なるルネッサンスの始まりである。しかし、聖書も、私の気に入らないところには目も耳も開かなかったし、通った教会の牧師さんの名前や説教の内容などは何一つ覚えていないのだから、勝手なものである。しかし、教会へ出かけるために使った時間をマイナスとかロスと考えたことは一度もない。

こうして、あれこれ悩んだ末に進んだ仙台の二高へ行ってみると、理科に同級の本宮正五郎君が入っており、三年の文科には武田光雄君がいて活躍していた。昭和九年の二高の文芸誌に彼は「アリサの場合」を発表していたのだが私などにはアリサもアンドレジッドも初耳であった。

酒中同窓会名簿によれば、この武田、本宮両君も、一高へ行った童顔の日賢幸雄君も今は亡い。他の物故された方々と合わせて心からご冥福（めいふく）を祈らせて頂きたい。

（前芝浦工業大学付属高校校長）

高齢化社会をどう生きるか（その5）

曽根原重郎（九回卒）

一、宇宙創成と人間の死

私はサラリーマン生活を五十三年間過し、今、自由ホライフワークを楽しんでいる。サラリーマンは、年という苦しいハードルを越えて生きねばならない。

私は二十年前再就職以来高齢化社会を立派に生き抜いてきた多くの先輩たちの言葉を咀嚼したら生きて来た。人間は必ず死なねばならない。しかし死後のことを適格に説明した出版本は少ない。結局は、豊かな人生を送りたい。死を悼まれ哭（こく）することのない人間は斉（あくた）に等しいものだろうか。然し人生の目標はこの地球上の一隅に栄光を放って死ぬことであるが、可能性に向って努力すればそれで良い。

さて宇宙創生の始まり（ビッグバーン）から二百億年、太陽系が出来て四十六億年・恐竜の繁栄時代から一億五千万年、チンパンジーから人の祖先が分化してから五百万年、そしてヒト（ホモサピエンス）が登場して二十万年、今日の地球社会の産業革命の形成から二百年である。この瞬間、空間の歴史を一年間に短縮しカレンダーを作ってみると、チンパンジーから人間に分化するまでにわずか一時間の経過に過ぎない。

地球に生命が現れ（原核生物）てからも二日と六時間の経過に過ぎないのである。そして人間人体を構成される細胞は六〇兆におよび、そのうち脳細胞は百二十億で、生れると同時に毎日五万個づつ死滅し続け、十二%の死滅する百二十年で人間の寿命が閉じるのである。脳細胞は神経細胞と共に再生しない。

DNA（遺伝子）は父のDNAのタンパク質で母の卵子核に突入した六〇兆個に分裂して人体を形成する。宇宙の原子生物と同じ遺伝子がわづか三時間で人間の生命体が完成し「かげろう虫」と考えてよい。然し頭脳（精神）と身体の運動を怠らないと、脳細胞の死滅速度は遅らせることが出来る。また脳以外の細胞は再生出来る。

調査結果、宗教を持つ人、楽天的な人、趣味を持つ人、魚食、菜食の村人は平均的に長寿であることが明らかとなった。以上高橋周七（コロンビヤ大学薬学博士講義概要から）我々地球人類は原核細胞遺伝子から分化して来た親子兄弟である。死に対する悲しみも嘆くに足らず。老いて虚しく（むなしく）感ずることもない大自然の摂理である。神は遠く時間、空間の銀河のかなたに鎮座するのかも知れない。

二、女性の社会進出と老人介護

最近女性の社会進出が目覚ましく、結婚、育児・家計経済と急激に多忙を極めて来た。人口減少（一・三五%）に政府は慌て始めている。これは、子育て、老人介護は専業主婦の仕事であるとキメ付けるべきではない。特に老人介護は女性の家庭崩壊につながる。寝た切り老人には二人の介護が必要とされる。

デンマークでは既に福祉三原則を謳（うた）っており①現在の生活を乱すことなく継続させる。②自分の生活方式は自分で決める。③能力に応じた自助努力を続けることである。

老人介護は家族の他に第三者による国の援助が急務であり、ホームヘルパーの養成と待遇改善が叫ばれている。女性いわく「男性は家庭を支配したら妻に甘えるおやじ」と厳しい。本来、母の愛は具体的で感覚的・触覚的スキンシップの愛であり、父の愛は象徴的・理性的・計画的愛であるとされているが、今やこの論理が変ろうとしている。

三、将来の展望と期待

最近高齢者問題を特に国際民間組織（IFA）が高齢者憲章を発表している。権利と責任すなわち

①高齢者は個性と多様性を認めること。

②性の差別をなくする

③地域社会の一営であることの目覚め

④保険医療を受ける権利

⑤生涯学習を受ける権利

⑥社会参加の権利

⑦尊厳死の権利

一方、責任として挙げる点は

①自助自立の責任

②健康維持の責任

③退職準備の責任

④技能知識を身につける責任

⑤次世代に技能知識を伝える責任

を伝える責任

次に老人問題について、次の四項目の実現を期待し提案を上げたい。

一、東京家政大学に、児童学科があるが、これと併せ老人学（GERONTROGY）を設置し、ゆりかごから墓場までの生涯一貫性のある人間研究を行う。

二、アメリカ南カリフォルニア大学、ジエロントロジーセンターと学生の相互交流をはかる。

三、中学・高校女生徒に老人介護の実習教育を行い、老人学の基礎を学ぶ。

四、大学生にアメリカ、ヨーロッパの老人福祉の先進国について研修を行う。（現シニア大学企画運営委員）

株式会社ハウジング・パートナー
取締役社長　石橋　潤（昭和四六年卒業）
〒102 東京都千代田区三番町二〇―二 三番町パークライフ三〇八
電話 三三六一―〇六八一(代)
FAX 三三六一―一七一〇

酒田名物 善兵衛そば
お申し込みは―― 小野米穀店
酒田市北新橋一―一九―四 電話〇二三四(二二)〇二四三

昭和二十八年卒 酒田東・西高校
東京二八会
会長　金山義雄
事務局　中野区新井五―二十八―九 土田方
電話　三三八七―四七三一

昭和二十九年卒 酒田東・西高校
東京ふくの会
連絡先 本間英生
電話（三四六四）四八三七
自宅 〇四八〇（三三）四〇三七
（株）日本交通公社

昭和三十年卒 酒田東高校
酒東ポプラの会
幹事長　丹呉雄治
事務局 堀建築設計事務所
電話（三四〇九）四八〇六

山麓会（36回）
首都圏支部
事務局　TEL3563―2828 本宮
名誉会長　斎藤　昭一
会長　本宮　正幸
渉外　小永光隆一
〃　小野　正夫
〃　船山　彰
会計　宮下　洋

富士レビオ株式会社
常務取締役　佐々木　猛（昭和二五年卒業）
自宅 電話 三三四八―〇六九一
新宿区西落合四―一七―二〇
電話 三九五一―八二六一

中山海事事務所
海事代理士　中山岩男（昭和三年卒業・四四生）
自宅 山形県酒田市北新町一―三―一
電話〇三四(二三)七三九九

日刊工業新聞社最高顧問
白井四郎（昭和五年卒業）
自宅 世田谷区北沢三―二三―五
電話 三四六八―〇〇七四

株式会社 菅原工務所
専務取締役　佐藤一雄（六回生）
山形県酒田市二―二―一六
電話〇二三四(二二)五四三三・五四三三
自宅 山形県酒田市中町二―二―二六

加藤外科医院
院長　加藤信吾（昭和一三年卒業）
品川区大井一―四二―一〇
電話 三七七一―五一六八

富士通株式会社
顧問　内山敬司（昭和十四年卒業）
自宅 富士通川崎病院
世田谷区中町三―四ノ六
電話 三七〇一―五二〇二

千葉工業大学教授
東京工業大学名誉教授
工学博士　越後谷悦郎（昭和一五年卒業）
習志野市津田沼二―一七―一
千葉工業大学工学部工業化学科

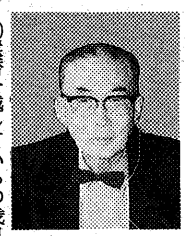
株式会社アメリカ屋靴店
代表取締役会長　伊藤憲三（昭和一〇年卒業）
会社 大田区平和島六―一―一
東京流通センタービル
自宅 世田谷区成城四―四―三
電話 三七六七―五五一一
電話 三四八四―一〇八八

遊湯境 高湯温泉
鳳舞山ペンション
〒0245(91)1401

荘内昔今

回想六十年～生き残りの余慶～

菅原　藤也（七回卒）



(一)還暦を越してからの歳月の経過は実に目まぐるしい。

ところで私はこの前の五十周年会同（善宝寺での長寿感謝祈願祭）と同夜、温海温泉にて七友会大懇親会（二八名）の模様をば昨日のごとく記憶しているが、一番ショックだったのは畏友（いゆう）菅原義蔵君のことである。我々はヨシゾウ君と呼ばず、ギゾウ君と呼んでいたが、あの温海会同のあとで、（十月十九日）「次の第七回卒業の六十周年まで頑張りましょう。」と元気な便りをくれた義蔵君が、一度もこの亀城会東京支部総会には顔を見せることなく永遠にあの世に旅立ってしまった。もっとも五周年すら待たずに享年七三歳で（昭和六十年七月十一日法名・明徳院顕山義道居士）遺児なし。

彼は、越中島時代チェリーマーク（優等生）の俸用（はいよう）者で海軍戦歴八年（少佐）昭和四十四年夏、塩釜（しおがま）市の第二管区海上保安本部長時代に管内査察で酒田市を訪れ、在郷同期生一同から盛大な歓迎を受け故郷に錦を飾ったと喜ばれた。

(二)話しが前後して恐縮だがこの時の名刹（めいさつ）善宝寺の本堂改修プロジェクトの責任者が、白木小三郎工博（大阪市大名誉教授）であったので、同期生一同が寺院側から賓客扱いを受けたことを記しておく必要があろう。同君は健在の由だから十月八日には再会したい。

さて義蔵君と（東京）亀城会支部の問題にかえって、彼は私には電話で「糖尿病」だから出席できないと言ってきたが、あとの「追憶　菅原義蔵」中にゆき夫人の書かれた「あとがき」を拝見すると昭和六十年三月胆管に胆石のあることが発端と述べておられるが、すべて河北病院の指図通りに動いたとその経過を克明に記載され賛嘆相久しうした。これは、ゆき夫人がご夫君の看護にいかに献身せられたかの貴重な証拠物である。

「先生は、こんなことは考えられない。わからないとしきりに申しておられましたが、私は今の医学の検査、検査と薬漬けで精神を二回錯乱させたり（看護婦さんが、患者の実態を確認せず採血したり）のシステムは、主人のような場合かえって衰弱し、余計体力を消耗させたのではないかと非常に疑問を感じ、ただただ情けなくつらくてなりません。」

これは現医療システムに対する痛烈な批判である。

(三)ところが皮肉なことにここ一―二年私も同様な場面に遭遇した。老人の常として持病は五つ六つ持っているが、一番要警戒なのは四年前に左胸部に植込んだ心臓ペースメーカーの推移であるのに現在は「パーキンソン症候群」である。後者は脳神経外科の範囲であるのに、都内一流大学付属病院の診断でそこに到達した医者は過去二年にわたり見当らなかった。

昨年八月三十日退院に際しての宣告は「慢性硬膜下血腫」（東邦大附属大橋病院脳神経外科）であり、本年五月十日退院前日の病状説明がおよそ趣旨不明瞭（ふめいりょう）なので、私が問いただしたところ、「心源性失神病」というので私は思わず笑い出してしまった。（慶応義塾大学病院内科）

病状判断がつかなかったのだから入院中全然投薬はしていないのに「差額ベッド代」を堂堂請求する（後者）のにはあきれた。

(四)今度の喜多村孝一博士の脳断層撮影十八枚の内三枚分を今後の検診対象にするとの熱意に表敬一任する事にした。パトキンソン症候群解説を見ると「外見上ショボくれていて直ぐそれとわかるとある」と書いてあるが、血色も肌目もそう見劣りしないけれども、漢字崩壊病（仮称）とでも言うか漢字の字画にまるで自信がなくなり、「広辞苑」や「国語辞典」に当って確めると恐ろしく時間がかかり文筆業者の端くれとして失格だが、今流行のワープロを身につける（娘に弟子入りする）ことを考えている。

もう一つの異現象は、「面識者失念病」（仮称）とでも云うか、最近の著例は藤原弘達博士を見損なったことで、榊原記念クリニック廊下で向い側の紳士の何人なりしや咄嗟（とっさ）に思い出せない（今を去ること二十年前、大宅壮一マスコミ塾二期生―最年長として大宅七人組の一人、藤原博士の講義を拝聴した。）私の家内は「あの方ならあなたが荒っぽい議論だとか何とか言ってきめつけている藤原さんじゃありませんか？」という。

それだけ聞けば「了解」とばかりに立ち上り、藤原博士の所に参上し一別以来の挨拶を言上したところ、先生は「僕もさっきから君の顔をどこかで見たことがあると考えていたんだよー」との有り難いお言葉。「ところで本日のクランケは先生ですか？奥様ですか？」とお聞きしたところ、「僕だよ！」「レントゲンとはどうなさったのですか？」「数日前、師匠筋の丸山眞男先生が具合が悪いと聞き御見舞いに参上したところ、先生の憔悴（しょうすい）ぶりが痛々しかったので、それで気になりかくのごとくここに参上というわけさ、大宅さんは七〇才、三島由紀夫以前にあの世に旅立たれた、『美しく死ぬことよりも美しく老いることが難しい』は蓋（けだ）し名言だね、僕は大正十年生れの七二才になったのだからねえ、考えざるを得ないよ！」

老生いわく、「先生の全盛時代というのはあの好著『創価学会を斬（き）る』の総買上事件に断じて屈せず祭政一致の違憲なる所以（ゆえん）を説いて一歩も引かなかった英姿です。『人は一代、名は末代』先生の我が国論壇史上の業績は不滅です」「いやどうもありがとう。ところであなたの歳は？『五黄の寅』通称は「五黄寅翁」」していま す。『うあつー上には上がある！』『上田辰之助著作集』を背負い込んで四苦八苦しています！」「立派！立派！お互いに長生きしようよ！」

（六面に続く）

乗馬部の思い出

大川　龍太郎（二一回卒）

私は、幼ない頃から少しばかり馬に縁があったのと、父が部長であることを知っていたので、酒中に進んだら乗馬部に入るつもりでいた。

昭和十五年四月、入学式の二・三日後、四年生の本間克治さんが近寄って来て、「おめ、大川だの。乗馬部さ入んなんでろの。」と、そうするのが当然だと言わんばかりに宣言した。「はい」と私はやや神妙に返事をして、毎日馬場に通うことになる。私といっしょに本間忠君（私とは又従兄弟の間柄で、小さい頃からの遊び友達）・武田保太郎君・後藤清男君が入部したが、武田・後藤の両君はあんまり熱心ではなく、後に退部した。

馬場は本町の通りを西に突当り、左にゆるい坂を下った右手、即ち船場町の一角にあった。馬場に付属する家に、私達が教官と呼んだ騎兵淮尉出身の方が住んでおり、馬場に面して厩舎（きゅうしゃ）があって、「照月」「勝山」「仁勇」「仁緑」「良鷲」「花星」「典祝」「清海」「満春」などの馬がいた。

この馬場は、騎兵出身の人達による「蹄（てい）友会」、一般の乗馬愛好者による「酒田乗馬倶楽部」という組織があって、両者の共同経営という形式のものであったが、それぞれ仕事を持っている関係で週日は殆ど訪れる人はなく、従って酒中乗馬部が独占することが出来たのであった。

私は放課後一目散に駈けつけて、熱心に練習に励んだ。乗馬下馬の方法に始まり、乗馬姿勢をやかましく注意され、鐙（あぶみ）なしで並歩速歩の基礎訓練が来る日も来る日も続いたが、嫌になることはなかった。乗馬後の手入は、初めから厳しく指導された。蹄（ひずめ）の土を洗い落し、馬体を水で洗ってから水分を拭き取り、藁（わら）でこすってブラシをかけ、最後に蹄に油を塗って仕上げるのだが、尻の穴まで綺麗にしなければならない。馬は尻尾を握ると蹴ったりはしない。

或る日のこと、武田君が清海の尻尾を握って尻の穴を拭いている時、清海は大音響を発して放屁をしたものである。至近距離から顔面にまともに吹きかけられた武田君は、「口の中に何かが入った」とわめきながら、大いに慌ててペッペッと唾を吐いた。すぐ側で一部始終を見ていた私は、気の毒と思うより先に文字通り抱腹絶倒するほかなかった。この事件は、この年の乗馬部第一等の珍事であった。

昭和十五年の酒中乗馬部の上級生は、次の方々であった。佐藤富士雄（十七回）、本間克治・阿曽信晴・桐谷武・佐藤久助・柴田操治（以上十八回）、古川哲夫（十九回）、荘司義彦（現姓阿曽）本間武（以上二十回）。本間武、通称タケチャンは、本間忠君共々小さい頃からの遊び友達で、運動神経が発達していて馬術でも優れた技術を示していたが、昭和十七年三月、三年修了と同時に甲種飛行予科練習生として海軍航空隊に入り、陸上攻撃機「銀河」の操縦員として、昭和二十年四月沖縄方面で戦死した。

四月下旬、上級生達は我々新入部員の歓迎会を開いてくれた。光ケ丘の松林における豚汁会である。葱・牛蒡・白菜・薩摩いもなどの材料は山のようなという形容が誇張ではないくらい沢山あった。

他に味噌などの調味料、大鍋、薪をリヤカーに積み上げ、一同ワイワイガヤガヤと賑やかに繰り出した次第であったが、この時の豚汁はうまかった。何杯お代りしても、まだ沢山あった。

もうこれ以上入らないところまで食べると、そこら辺を犬ころのように走り廻り、幾分消化したような気になると又食べた。五十年を経た今でも、あの時の豚汁の味は忘れられない。

豊富だった食物もさることながら、松林の中で盛大に火を燃やすことなど、今では許されないことであろうが、日華事変の最中とは言え、まだ古き良き時代の牧歌的な空気が失われていなかったように思う。

基礎訓練は一カ月程続き、やがて鐙をつけて乗ることが許され、どうやら一通りの騎乗が出来るようになり、一学期の終り頃には、低い障害飛越の訓練も始まり、夏休中も練習を続けた。内山敬司会長代行は乗馬部の大先輩だが、この頃はもう旧制第二高等学校在学中で、夏休帰省中よく馬場においでになり、騎乗されていたものであった。

昭和十六年四月、私達が二年生になると、一年生に阿部哲弥・荘司悌治（二十二回）の諸君が入部して来た。阿部さんは殊のほか練習熱心で、後に大そう上達した。荘司さんはあんまり熱心ではなかったが、後に陸軍特別幹部候生を志願して、昭和二十年戦死した。

私は相変らず練習に励んで、ほぼ自由に馬を御することが出来るようになり、三年・四年生時代は更に技術に磨きをかけるといった風に、勉強はそこそこにして乗馬に熱中した。

二年生二学期末に大東亜戦争が勃発して、緒戦の戦果も束の間、次第に劣勢となって行くのがわかっていたけれども、酒田の中学生生活はまだのんびりしたものであった。それだけに多くの思い出が脳裡に去来するが、特に楽しかったのは遠乗と場外騎乗である。ここでは、場外騎乗の思い出を一つ述べてみたい。

場外騎乗とは、馬場の外に出て近くの野山を二・三時間乗廻すことで、最上川堤防周辺や光ケ丘の競馬場跡によくでかけたものである。光ケ丘に行くには、普通秋田町・今町（町名が変更されたようだが、よく知らない）を経て女学校（現西高）の前を行くわけだが、私達が女学校の前を通りかかると、三回のうち二回は校舎二階の窓から多勢の女学生が鈴なりに顔を出して、キャーキャー叫びながら盛んに手を振ってくれたものである。

私達はちらちら横目でそれを眺めながらも、真直ぐ前を向いたままで無関心を装って通り過ぎるのを常としたが、然しこれは仲々に心楽しいことであった。

三、四年前の東京亀城会役員の忘年会か新年会でこのことを披露したが、内山さんが「僕も馬に乗って女学校の前をよく通ったけれど、そんなことはしてくまれませんでした。」と大変不満そうな顔をされて大笑いになったことがある。

昭和十九年四月、五年生になると、乗馬部の最上級生は私一人になった。本間忠君が、

佐藤トロフィー株式会社
代表取締役　佐藤知章（昭和一五年卒業）
本社　荒川区東日暮里五―三五―一　サトービル一F
電話　三八〇七―三一九二

関東学院女子短期大学教授
医療法人マサカクリニック
真坂小児科医院院長
医学博士　真坂孝一（昭和一五年卒業）
横浜市戸塚区品濃町五二三―三
電話〇四五（八二三）七八六六

第一勧銀受託宝くじ販売有限会社　丸三
取締役社長　斎藤博（昭和一六年卒業）
〒134　江戸川区中葛西三―二四―十三
電話（三八七七）一一九二（代）　いいくじ

株式会社ティ・エー・シー企画
代表取締役　青麻弘之（昭和三〇年卒業）
総合広告代理店
月刊コンピュータ・ダイジェスト
台東区台東一丁目三七番五号（武田ビル）
〒110　電話〇三）三八三七―四三五一（代表）
FAX〇三）三八三七―四三五三

相続税・贈与税
所得税・法人税　申告・納税相談
税理士　佐藤靖（昭和三〇年卒業）
〒336　埼玉県浦和市太田窪五―七―五
（コーポ太田窪一二〇五室）
電話（〇四八）八五―二七六八
FAX（〇四八八）八五―五二八一

前建グループ
岡部建設株式会社
取締役　岡部長征（昭和三一年卒業）
電話（〇四二七）二九―三七四四

株式会社　レアーズ
代表取締役　村上克也（昭和三一年卒業）
杉並区上高井戸一―一〇―二
電話　三三三九―〇一一一

オリジナル浴槽製造元
有限会社　カイト
代表取締役　阿部博（昭和三二年卒業）
練馬区向山二―一一―六
電話　三九二六―〇六五〇（代）

小口内科
院長　小口邦子（旧大谷）（昭和三二年卒業）
杉並区成田西一―一三―六
電話　三三二六―八五七七

相川・田中法律会計総合事務所
弁護士　相川俊明（昭和三三年卒業）
〒140　新宿区四谷二丁目九番一五号　サンサーラ四谷ビル八〇一号
電話（三三五三）四六三二
FAX（三三五三）四三二八

講談社出版販売㈱
代表取締役社長　阿部尚記（昭和三三年卒業）
新宿区新小川町九―一五
電話　三二六七―七〇一一

株式会社　設計集団　東京設計室
伊藤正治郎（昭和三五年卒業）
渋谷区鶯谷町七―一―七〇八
電話　三四六四―五三五六（代）

屋内・外電設工事全般
大功電設工業有限会社
代表取締役　後藤功記（昭和三五年卒業）
三鷹市大沢二―一一九―二
電話〇四二（三一）三六三三

関内グリーン歯科
歯学博士　五十嵐正晴（昭和四二年卒業）
横浜市中区真砂町三―三二
（小泉ビル三F）
電話（〇四五）六八一―二五四四

弥生台歯科医院
院長　高橋信人（昭和四二年卒業）
診療所　横浜市泉区弥生台十三―四
横山ビル二階
電話〇四五（八一二）四五八二

元木徹法律事務所
弁護士　元木徹（昭和四二年卒業）
〒104　東京都中央区銀座一―二〇―一五
前田・山陽ビル五階
TEL〇三（三五六四）二九四八
FAX〇三（三五三五）三五四三

有限会社丸藤普建築設計室
丸藤晋（昭和四六年卒業）
渋谷区東一―十三―三
カイトウハイツ一〇五
電話　三四八六―〇八八五
FAX　三四八六―〇八八六

吉祥寺でふる里の味を……
パブ庄内平野
武蔵野市吉祥寺南町二―四―三
土田ビルB一F
電話　〇四二（四七）六六一七

酒東十五年ぶりの金メダル

高校総体新体操「こん棒」で

本年、県大会でも野球はベスト8入りが果たせず、不振を続ける酒東運動部であるが、八月におこなわれた静岡インターハイでの新体操種目、個人戦で、三年生阿部勝君が金メダルを獲得した。

八月十一日静岡市草薙運動場体育館で、行なわれた最初の演技・『棒』では、ミスがあり六位に入賞したものの、二番目の『こん棒』では、完全な演技をおこない、一位となった。

酒東体操部は、創部以来、昭和四十七年、五十一年のインターハイでの全国優勝をはじめ、全国高校総体、団体戦では毎年ベスト3以内に入賞していたが、最近はやや、低迷状態にあった。今回の十五年ぶりの全国優勝者出現に、往年の〝体操王国〟の再現が期待できそうと関係者を喜ばせている。

指導の富樫郁遷先生（48回卒）―左―と共に花束を受け取る阿部勝君。

国公立大入試

酒東現役勢善戦健闘

平成三年度大学入試において、酒東の現役勢はよく健闘し、国公立大では述べ合格者数百四十七人（前年度比プラス九）、実合格者数で百二十三人（前年度比プラス一五）に達した。従来本校が最低目標としてきた国公立大実合格者百人突破も困難と見られていたが、結果は共通一次試験の開始された五十四年度以降では最高の合格者数となった。

私立大では、延べ合格者数百二十人（前年度比プラス三）、実合格者数で八十四人（前年度比プラス八）であった。史上最激戦入試の厳しさはどちらかと言えば、私立の中堅大学に顕著であり、本校現役勢は合格者数では前年度より微増であるが、合格率では前年度を若干下回った。

厳しい客観情勢の中で好成績をあげた原因としては、昭和六十三年度から山形県が大学合格者数の増加を狙って、普通科高校活性化事業なるものを県内有力進学校九校を対象として開始したが、本校もその一つとして、教職員と保護者が一体となって努力を続けてきたことがあげられよう。具体的な実践例としては、学習習慣確立のための徹底した個別指導、指導法研修のための他校視察、教材開発、夏山学習合宿、大学教授招聘（しょうへい）の特別講座、早朝補習、夜間補習などがある。

三年間の活性科事業取組みの中で、酒東生はまだまだ大きな可能性を秘めていることが実感された。今後この可能性を最大限引き出す努力によって、国公大では現役性の実合格者数百五十人以上は可能と思われる。私立大でも滑り止め校ではなく、難関校に続続合格者を出していきたいものと思う。（酒田東高進路指導部長　高橋鎮雄）

酒田東高平成３年度入試受験・合格状況

（延数で示す。（　）内は昨年度）

	平成3年3月卒			過年度卒			計		
	受験数	合格数	合格率%	受験数	合格数	合格率%	受験数	合格数	合格率%
国立大学	298(265)	141(129)	47.3(48.7)	67(78)	26(33)	38.8(42.3)	366(343)	167(162)	45.6(47.2)
公立大学	26(37)	6(9)	23.1(24.3)	14(10)	6(2)	42.9(20.0)	40(47)	12(11)	30.0(23.4)
文部省所管の大学校外	0(4)	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)	0(100)	0(1)	0(1)	0(100)
私立大学	458(394)	120(117)	26.2(29.7)	387(277)	101(91)	26.1(32.9)	845(671)	221(208)	26.2(31.0)
国公立短大	50(27)	28(20)	56.0(74.1)	1(0)	1(0)	100.0(0)	51(27)	29(20)	56.9(74.1)
私立短大	29(31)	21(17)	72.4(54.8)	0(0)	0(0)	0(0)	29(31)	21(17)	72.4(54.8)
各種専門学校	16(15)	16(13)	100.0(86.7)	1(0)	1(0)	100.0(0)	17(15)	17(13)	100.0(86.7)

大学別合格者数の一部

（　）内過年度卒生

国公立大

東北大	14(1)	宮城教育大	8(3)	秋田大	6(3)	山大	49(5)
福島大	6(0)	茨城大	5(1)	埼玉大	7(1)	筑波大	2(0)
千葉大	3(0)	宇都宮大	4(1)	群馬大	3(0)	東大	2(1)
東京学芸大	4(1)	一橋大	1(0)	東外大	1(0)	横国大	4(0)
新潟大	23(5)	金沢大	2(0)	富山大	5(0)	高崎経大	2(1)
横浜市大	1(0)	都留文大	2(1)				

私立大

東北学院大	29(9)	文教大	3(1)	青山学院大	3(0)	学習院大	2(0)
国学院大	4(2)	成城大	2(0)	専修大	7(3)	中央大	9(8)
津田塾大	3(0)	東京女子大	1(0)	東洋大	6(1)	日大	13(9)
日本女大	1(0)	法政大	3(2)	明治大	9(8)	立教大	4(2)
早稲田大	6(6)	東京理大	1(0)	京都女大	1(0)	立命館大	3(2)

〝乗馬部の思い出〟

（五面より続き）

四年修了で米沢工専（現山形大学工学部）に合格入学したからである。ただならぬ戦局が身に泌みて感じられるようになったこの頃、学校生活も大きく変貌した。

三日乃至一週間単位で鉄興社など工場での勤労奉仕、田植え・草取り・水田造成工事など農村での勤労奉仕が相次ぎ、不足する授業時間を補充するために一日七時間、日曜も授業日、休みは一ケ月一回となった。それでも暇があれば馬場に行き、下級生部員を指導したことが、当時の日誌に記してある。

そしてついに七月末、学徒勤労動員令により、私達五年生と四年生は学業をなげうち、群馬県の中島飛行機株式会社に配属されることになって酒田を去った。実質的には、このころを以て酒中乗馬部は消滅したと言えるだろう。

やがて秋になると、空腹に堪えながら海軍機の整備作業に従事している私の手許に、「仁勇」が将校乗馬として召集され、「満春」は病死し、もう一頭（名前を失念）も死んだという便りが届いた。つい去年まで蹄の音が響き渡り、乗馬部員の声が飛び交った馬場の殷盛（いんせい）が、人馬共に急速にさびれて行くのが目に見えるようで、戦争が末期症状を呈しつつあることと共に、限りない寂しさを覚えたのであった。

あれから四十余年を経た今、亀城同窓会会員名簿を見ると、各部活動状況の記載があって後輩諸君の活躍ぶりを知ることが出来、それはそれで同慶の念を禁じ得ないけれども、かつて私が所属した乗馬部の名が無いのを殊の外残念に思うのである。

（荘内館専務理事）

各界でご活躍の東京亀城会々員の皆様

保存版
まさかのときのご相談は、同窓生の皆様へ

●特許申請のご用命は
鈴木特許事務所
弁理士 鈴木淳也
（昭和28年卒業、昭和56年特許庁退官、審査官・審判官歴任）
事務所　文京区本郷3-3-1 お茶の水ＫＳビル
電話　３８１２－５９５５
自宅　千葉県我孫子市古戸２３０－４
電話　０４７１－８８－９４７９

西上尾上林眼科
院長 上林　茂
（昭和27年卒業）
病院：埼玉県上尾市小泉８－44
電話　0487(81)０２９０
自宅：埼玉県上尾市小泉379-14

荘内證券
取締役社長 和嶋　茂男
（昭和18年卒）
本店　山形県酒田市中町１－13－８
ＴＥＬ　0234（23）６１１１

ガルフシール工業株式会社
●ガルフシール工事材料製造施工
●エンビシート工事施工
ソウゴ工業株式会社
コンクリートブロック製造販売施工
本社　東京都目黒区三田２－10－15
ＴＥＬ(03)3710－０１０１(代)
Ｆａｘ(03)3710－０２９２
工場　熊谷市佐谷田２９７６
大阪営業所　大阪市北区野崎町パークビル
代表取締役社長 藤井重信
（昭和12年卒業）

クリエイティブな商品写真。
有限会社 アンド・フォトグラフィー
代表 本宮 正幸（昭和36年卒業）
〒104 東京都中央区銀座1丁目19番13号 丸美屋ビルB1
TEL：3563-2828(代)FAX：3563-2825

医療法人社団 歯生会
真坂歯科医院
理事長 真坂信夫
（昭和33年卒）
東京都世田谷区奥沢五丁目26番９号
自由ケ丘栄ビル３階
（自由ケ丘駅南口前）
☎０３（３７１８）８４７０

相馬法律事務所
主任弁護士 相馬　功
（昭和31年卒業）
事務所：港区虎ノ門1-5-16　晩翠ビル
電話　３５９１－４１６６

堀　法律事務所
主任弁護士 堀　廣士
（昭和30年卒業）
事務所：中央区銀座1-7-6 タニザワビル
電話 03（3564）0171・0179
ＦＡＸ 03（3564）０１７４
自宅：千葉県柏市西山１－12－９
電話０４７１（７４）２２７８

ふるさとの香り、木の香り……
本格木造分譲住宅
自由設計の家
すずらん苑
同窓生の方、県人の方が住宅建築及びご購入の際には特に優遇させていただきます。
首都圏100キロ圏のマイホームはおまかせ
代表取締役 鈴木藤男
★文化放送・ＴＢＳラジオのCMでおなじみの鈴建グループ
●住まいのコンダクター
設計施工 株式会社 鈴建工務店
■本社／東京都板橋区弥生町28－10
■TEL 03(3974)2805(代)
販売代理 建設大臣免許(2)第3053号
スズケンホーム株式会社
■池袋支店／東京都豊島区南池袋 2-27-3 ■TEL03(5992)2771(代)
■大宮支店／埼玉県大宮市吉敷町4-38-2すずらん館ビル■TEL048(642)1731(代)
■久喜支店／埼玉県久喜市東1-10-28 ■TEL0480(21)9841(代)

還暦を祝う同年会

昭和二十五年に卒業した亀城二十五回生の卒業四十年と還暦を祝う会が、酒田山王祭の前々日の五月十八日に酒田で開催されました。

二十五回生といえば、太平洋戦争最中の昭和十九年四月に酒田中学校へ入学、一年から四年までを旧制中学で勉強し、昭和二十三年四月から新制高校に切り替わって、酒田第一高等学校で二年、三年生を過ごしました。

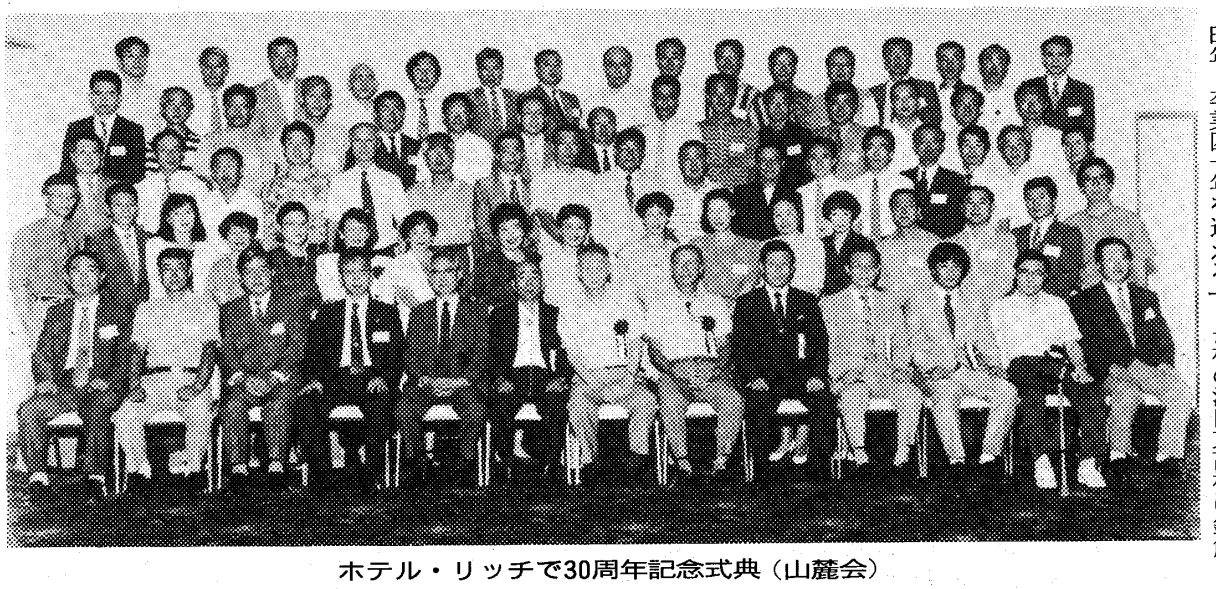
戦中、戦後の混乱期に、青春の六年間を同じ校舎で共に学んだという、亀城同窓会でも得難い体験をした仲間たちです。

昨年、卒業四十年を迎えるに当たり開催を企画したのですが、大多数が昭和六年生れで平成三年が満六十歳であることから、「還暦の会」を兼ねて開くことになったものです。

当日は午後二時に、日和山公園隣の日枝神社の参集して、先ず同窓生の神主さんに還暦祈願をして頂き、その後、チャーターしたバスで市内視察を行ないました。

まず、母校に行って参集者約三十人で記念撮影を行ない、その後、土門拳記念館、庄内空港、東港を巡って、午後五時に懇親会会場の酒田産業会館「欅」に着きました。

母校の酒田東高校は鉄筋コンクリートの校舎になって、私たちが学んでいた面影はほとんどなくなっていましたが、グランドと旧八幡様の森の木々に昔の思い出を残していました。また、たまたま前日に庄内空港と羽田を結ぶ便がこの秋から開通することが決まったばかりだっただけに、空港を目の前にその利用についてひとしきり話題になりました。



ホテル・リッチで30周年記念式典（山麓会）

東高校舎正面玄関前で（亀城25回生）

午後五時三十分から始められた「還暦を祝う同年会」には、恩師の斎藤修治、佐藤善吉、佐藤善一、佐藤慶治郎の四人の先生たちもご出席くださり、地元幹事代表の佐藤俊二の挨拶の後、次々とスピーチが続き、舞娘さんのお酌もあって和やかに歓談しました。

この日の出席同年者は全部で六十四人、入学時約百六十人、卒業時約二百人だったので約三分の一が出席したことになり、なかには東京亀城会地区からの出席者八人を含みました。そして記念撮影も全員の写真以外に、酒田自慢の舞娘さんを囲んで、通学地域別の写真を撮りました。

そして、酒田地区の今度の同年会は明年一月十五日、東京地区は今年十一月二十二日に開催予定で、おたがいに地域を越えて交流することを申し合わせて九時に解散しました。

（報告　五十嵐義勇）

三十周年記念山麓会

高校卒業して満三十年を迎えた我々山麓会（三六年卒）は毎年八月十五日に同期の米田正雪君が営業支配人をしている若竹町の「ホテルリッチ」に集まり旧交を暖めておりますが、今年も早や十一回目を数え、例年通り在校時にお世話になった先生達をゲストに会員は関東関西からも多勢参加し総数七十八名で記念式典と懇親会を行いました。

これに先立って記念講演として芦野茂喜先生が副学長をなさっている酒田短期大学の塚越助教授のエイズに関する米国民の考え方について述べられ堅い標題の割にはジョークが豊富で柔らかい内容でした。

式典では五十嵐現校長が酒東近況について話され、また鳥海俊士先生が相変わらずの大きな声で元気一杯であいさつを頂き、我々も心強いばかりでした。

このあと御出席頂いた佐藤耐雪（豊太）先生・相蘇敏夫先生・佐藤善一先生と芦野先生の順で短いながらも含蓄のあるお話をいただきました。

おわりに一同で僭越ながら母校への記念品を贈呈させて頂きました。

懇談に入り当初は女性陣をまん中のテーブルに男性はクラス別に分かれて飲み始めましたが、海上自衛隊の久松武宏君が持参した珍しい南極の氷でウイスキーが運ばれると酔う程に移動が激しくなり皆が入り混じった各テーブルの再会の花はいつ散るとも知れず互いに時の経過も忘れあっという間の二時間でした。

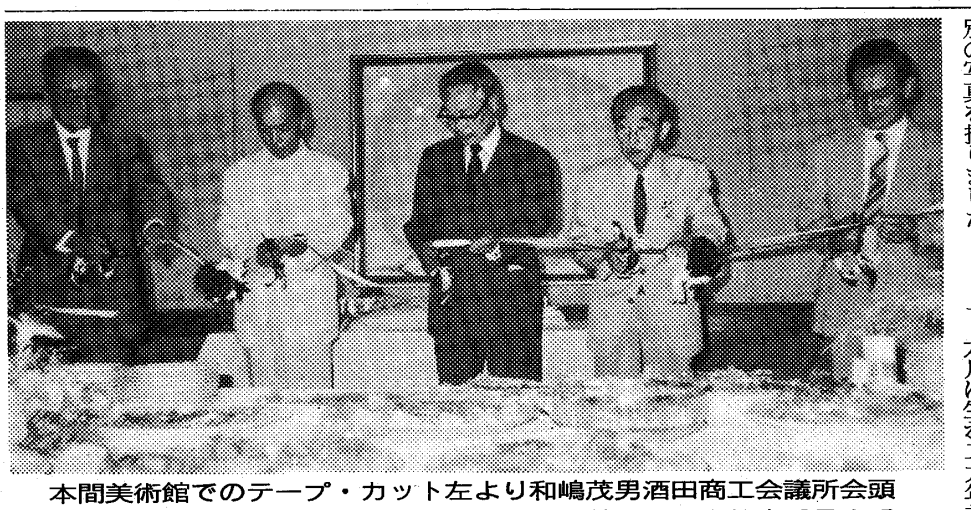
お開きになっても仲々別れ難く各々グループを作ってというよりも徒党を組んで酒田の夜に繰り出した次第です。

中には高校時代同様女傑振りを発揮していた昔の乙女も三次回迄達者に付き合っていた人もいたようです。

今回は在京同期生からは十数名参加しましたがいつもながら毎回この会をセットしてくれている会長の小山健君、実行委員長の斎藤好正君、飲食を忘れて名司会振りを披露してくれた本間寛明君、三十周年記念誌発行のため東奔西走してくれている糸谷重臣編集委員長他編集委員の皆さん等々酒田在住の人達の御苦労に只々頭の下がる思いでした。

昼の部では記念行事としてゴルフコンペを湯の浜カントリークラブで開催し在京同期生から本宮正幸・小野正夫・佐藤隆君と小生の四名が加わり計十九名に芦野先生にも入って頂き珍プレーも続出、大いに暑気払いをいたしました。今年六二才になられたという同先生はキャリア二年とはいえさすがの柔らかい体と若々しさで我々を軽くオーバードライブし、私も同じ組でまわりましたがキャディーはあとで気付く迄同年令と思っていたと目を白黒させていました。同コースでのゴルフは私は初めてでしたが以前聞いていたとは大違いで芝付きも良く各ホールの木々も育って、フェアウエーも狭くは感じませんでした。

（報告　小永光隆一）



本間美術館でのテープ・カット左より和嶋茂男酒田商工会議所会頭（19回卒）スズキシン一氏（27回卒）佐藤善一酒田市教育委員会委員長（19回卒）佐藤三郎本間美術館長（２回卒）五十嵐敬司酒田東高校長（27回卒）の皆さん―いづれも同窓生―

スズキシン一個展

六月に生れ二九年前の八月に他界したマリリン・モンローの李語は「夏」らしい。社会教育学の松本良夫教授（東京学芸大学）が編集発行しているマリリン専門のミニ・コミ誌『Marilyn』の第五号に掲載されている新説だ。

その夏にぴったりのマリリンを二五年以上にもわたり描き続けているスズキシン一氏の個展と展示即売会が、ほぼ同時期を同じくして酒田で開催された。八月一七日から九月五日まで開催された本間美術館での個展は実に三三年ぶりで、展示即売会は小品を中心に清水屋デパートで開催。

スズキ氏は、一九三二年酒田市生れ。五六年に日本大学芸術学部を卒業後、五八年に油絵とデッサンによる初個展を落成まもない本間美術館の新館で開催している。六〇年に自由美術協会会員となったが、四年後からは無所属。六〇年代半ばからマリリンをテーマにした作品を描き続け、これまでに三〇数回におよぶ個展を開催している。

ことに、山梨県にアトリエを移してからは、マリリン・マンダラの大作に取り組み始め、内外のテレビ、新聞、雑誌に紹介されたのは記憶に新しい。九〇年にはスペイン・マドリッドの現代アート・フェア（アルコ九〇）にも出展し、現地で高い評価を受けた。

今回の美術館の個展は、山形県教育委員会が美術館と共催、酒田市教育委員会・山形新聞社・酒田東高等学校・同校亀城同窓会他が後援し、開催に先立ち、一六日五時三〇分から同美術館でオープニングレセプションが行われた。

スズキ先生の同級生を初めとする多くの出席者が見守るなか、佐藤三郎館長などのテープカットが行われた。恩師里内直次先生の祝辞で盛り上がったころ、スズキ先生から美術館に寄贈されることになった「十万体のマリリン・マンダラ」（一九八〇―八二年作）の目録贈呈および作品解説。東京からわざわざお祝いにかけつけてくれた瞬生画廊、青木画廊の両社長の激励のあいさつなどで、会場はさらに盛り上がり、歓談は遅くまで続いた。

八月十八日、午後一時三〇分からは本間美術館講堂で文化講演会「マリリン・マンダラ百万体への挑戦」を開催した。講師は東京大学教授の亀井俊介氏と、作家で女子美術大学教授の中田耕治氏。両氏ともマリリンの研究では第一人者とあって、マリリンとスズキ先生の関係をユニークに講じ、「スズキ・マリリンの世界」を違った角度から解き明かし大好評を得た。

（報告　高橋常昭　四六回卒）

郷土料理
おばあ
大内キク
（酒田市出身）
中央区銀座一―四―一〇（大内ビル）
電話（三五六一）六三四一・六四六六

朝日産業株式会社
工業用ゴム製品
（バイトン・ウレタン・シリコン）其の他
パイプタンク・ゴムライニング
（出張工事可）
代表取締役　村上義八郎
（昭和二四年卒業）
北区田端新町一―二一十五
高垣ビル四〇二
電話（三八九三）六三〇七

庄内の名産品を直送します

日航国際便に乗る
“選ばれた酒”
全国新酒鑑評会
東北新酒鑑評会
金賞

杉原の

二十五周年記念式典

総会終了後、同会場での恒例の懇親会に入り、今回は再建二十五周年記念総会のため、小松眞幸最高顧問（二回卒）より謡曲「高砂」のご披露頂き開会とした。例年の通り、有煒会（旧制酒田高女・西高）小野たけ江東京支部長、森万寿副会長はじめ酒田商業、酒田工業、余目高校、鶴翔会（鶴岡中学・鶴岡南高）、如松会（旧制鶴岡高女、鶴岡北高）城畔会（鶴岡工業）など在京同窓会役員、今回の総会執行回の三十五回卒の地元同期会酒田珊瑚会事務局長土田英夫氏など来賓三十名のご出席を頂き、招待客紹介、会長の歓迎のあいさつに続き、有煒会の小野たけ江東京支部長の音頭で乾杯、懇談に入った。

例年通り、ご寄贈の地元銘酒「初孫」「菊勇」「上喜元」「麓井」を地元料理の「玉こんにゃく」「恵胡」「胡麻豆腐」のさかなで痛飲。

今回は記念式典のため、執行回員の希望で「民謡友の会」が出演、なじみ深い「最上川舟唄」「酒田甚句」などを演奏大いに会場を盛り上げてくれた。

最後に、応援歌の大合唱とこれも恒例の手締めで散会となった。

本年も次の各社からご厚情を頂いたことを、毎年のことながら厚くお礼申し上げます。

▽杉原商店様（酒田市大宮町）恵胡、納豆、あらめ、胡麻豆腐、トーフステーキ・他

▽鳳南酒造様（酒田市黒森）清酒〝菊勇〟

▽酒田酒造様（酒田市日吉町）清酒〝上喜元〟

▽東北銘醸様（酒田市本町）清酒〝初孫〟

▽麓井酒造様（鮑海郡八幡町）清酒〝麓井〟

感謝状と記念品を受け取る小松顧問

平成三年度総会のお知らせ

本年度総会、懇親会を左記の通り実施いたします。

ご案内状は、冗費節約のため全員には発送いたしませんので、同級生の皆様、お知り合いの同窓生の方へと連絡お誘い合わせの上、ご出席をお願いします。多数の方々にお声をかけて頂ければ幸いです。

——記——

日時　十月十八日（金）
　　午後六時より

会場　東京都千代田区二番町　番町グリーンパレス
　　（〇三）三三六五—九二五一

（地下鉄有楽町線「麹町」都営地下鉄「市ケ谷」JR線「市ケ谷」下車）

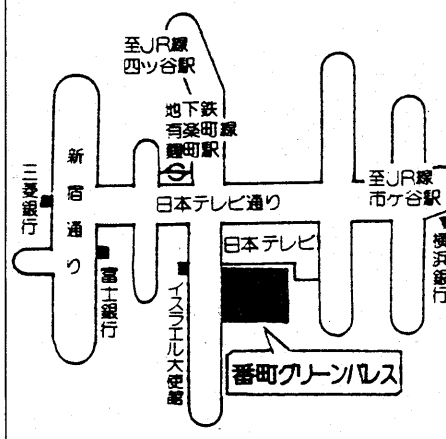
総会議題　①会務報告②会計報告③その他

年会費　二、〇〇〇円

懇親会費　八、〇〇〇円
（五〇年以降卒業生は六、〇〇〇円、女性、及び夫婦会員は半額）

東京亀城会会長　若林　義治

総会執行委員長　越後谷悦郎



東京亀城会平成２年度会計報告書

（平成２年４月１日～平成３年３月末日）

収入

＊前年度繰越金	519,481
＊＊年会費他	635,640
＊＊会報収益	415,417
＊＊総会	1,190,000
計	2,760,538

支出

＊会旗製作費	119,484
＊＊通信費	132,016
＊＊総会	657,605
＊＊慶弔費	191,600
＊＊交通費	50,000
＊＊会議補助費	213,173
＊＊交際費	161,132
＊＊事務用品費	24,615
＊＊資料費	35,000
＊＊事務局運営費	90,000
＊会報編集費	200,000
＊雑費	117,120
計	1,991,745

収入－支出＝768,793

（次年度繰越金）

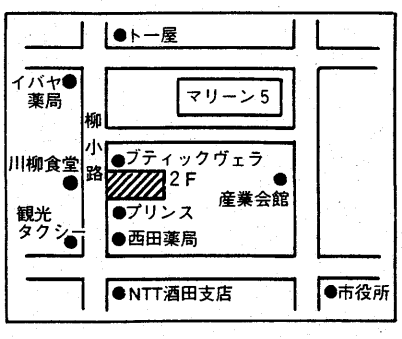
上記会計報告は、会計帳簿、領収書、伝票及び預金通帳等により、適正なものであることを認めます。

平成３年４月６日

会計監事　元木　徹㊞

亀城ルーム誕生

▽以前から、酒田市内の中心部に同期会、クラブ活動のOB会など、同窓生が集る場所が欲しいとの要望があったが、運営方法などの問題もからみ適当な施設が見つからなかったが、ようやくもとの映画館グリーン・ハウス跡地にたったビルの二階、酒田駐車ビル裏、三十回以前の卒業生には、元の郵便局、警察署近くの柳小路といえば判りがいい場所に開設された。



▽同窓生なら母校（22—一三六一）か、光印刷（24—一一一一）に連絡の上、駐車ビルの受付で鍵を受け取てあり、ミーティングの場所としては最適な施設が作られてある。

酒田に帰って同窓生との交歓に利用されてはいかがでしょうか……。

住所、酒田市中町二ノ五、電話酒田〇三四—二六—八四五〇

▽以前から、酒田市内の中心部に同期会、クラブ活動のOB会など、同窓生が集る場所が欲しいとの要望があったが、運営方法などの問題もからみ適当な施設が見つからなかったが、ようやくもとの映画館グリーン・ハウス跡地にたったビル

り使用後は、鍵を受付に返却すればいいという気楽に利用できるシステムになっている。使用料は一人百円、十人以上は千円とのことだが、室内には母校の関係資料・公衆電話とお茶道具、飲食用具それに会議用机椅子、懇談用のソファが揃え

本部同窓会名簿発行——平成二年版

28・29年西校舎卒業生も記載

五年ごとに発行されている亀城同窓会会員名簿が創立七十周年記念行事の一環として平成二年十一月三十日に発行された。

前回から各卒業回別に名簿作成のための世話人を選出、原簿から新に作成したのと、大型コンピュータによる電子編集のためデータの検索・訂正、が容易になったため記載事項の正確度が向上した。

同窓会会員として取り扱い名簿に入れた。

また、校歌・応援歌の解説、同窓会、母校の沿革、支部だよりなどのほか、同窓生より寄贈された著書、総画、写真、彫刻のリスト。運動部の活動の歴史など読む名簿としての制作の苦心が随所に見られて好評をえている。

（頒布価格二千五百円。）

題字変更

創刊以来十号縦形の題字を使用していたが、今号より横形の題字になった。題字はサンケイ国際書展審査会員として書道界の重鎮、高橋大乗氏（二一回卒）に執筆して頂いた。

酒王 初孫
東北醸酸株式会社
山形県酒田市本町３丁目10番20号
TEL 0234（26）３５３５

今回の名簿の特色は昭和二十八年、同二十九年度酒田高等学校西校舎卒業生も、現在の酒田東高等学校にある学籍簿に記載され、卒業証書の登録番号も、東高全体のものと一連となっているため、亀城

編集後記

昨年十二月、新しい会員名簿が送られて来た。この中で新、旧校歌の作詩・作曲家の約歴が載せてあった。ところが私達が慣れ親しんだ旧校歌の注釈の中で作曲の横地文四郎の項目では、『酒田市立光ケ丘文庫、遊学、国会図書館にも資料なく不詳。軍楽隊の一員であったとの推測される』との記事があった。

また、歌詩の注釈の中で、『〝六百並んで〟は、旧制酒田中学は大正九年の開校時の学年定員九十名、五年生だから四百五十名、大正十四年には学年百四十名だから七百名である。旧校歌はこの間にできたものと思われる』とある。まだ創立から七十年というのに、という思いで忘れるともなくそのままにしていた。

暮から正月にかけては、湾岸戦争取材、恒例の海外出張・講演が引き続き、帰国してから、他の用事もあって母校に電話したとき、亀城会同窓生一万数千人の中で、一人位いは、校歌作成当時の経緯を知っている人がいそうなものと聞いたところが、なんの情報も入って来ないという。

日本音楽著作権協会に問い合せたところ、横地文四郎では、該当者がないという。軍楽隊関係者ということからも調べて見てはと思い、陸海軍軍楽隊史を調べたところ海軍軍楽隊史—日本洋楽史の原典—の中に横枕文四郎という弦楽演奏の名手で、上野音楽高校（現東京芸大音楽部）に海軍委託生として派遣されたものがいることが記載されていた。

その後、横枕は軍楽隊のエリートコースを歩み、大正六年、軍艦行進曲の作曲者として有名な瀬戸口藤吉の後任として、海軍軍楽隊の最高位〝軍楽長〟に就任し、大正十年当時の皇太子殿下（昭和天皇）海外御巡遊の御召艦「香取」軍楽長として乗艦、艦内での演奏で殿下の無聊（ぶりょう）を慰めたという。

一方作詩の方は、『晩翠先生作詩校歌集』によれば、大正十二年十二月酒田商業、大正九年鶴岡工業とならんで、なぜか『大正九年ころ』として、酒田東高等学校、横地文四郎・曲と記載されている。

五月にもう一度母校の関係書類を調査してもらったが横枕の名前はでて来ない。ところが、横枕文四郎の名前で調査したところ幸い、長女、三女の方が健在で会うことができた。当日楽符を持参、長女の方にピアノで弾いてもらったところ、父の作品に間違いないという。

そして八月、母校保存の学友会雑誌一号に手書き原稿印刷楽符に横枕文四郎の署名あることが発見され、あっけなく一件落着した。（あ）

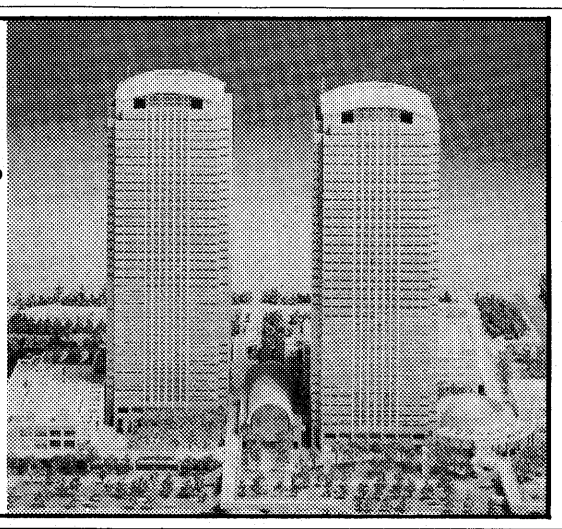
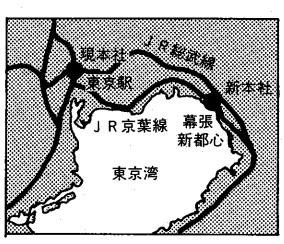
学友誌についてのお願い

同窓会本部では酒田中学校、酒田東高等学校の学校沿革資料をさがしています。特に毎年度発行していると思われながら、現在学校に保存されていない学友誌及び生徒会誌は次の通りです。お持ちの方がありましたら、お知らせ下さい。

第３回卒分	（昭和２年３月卒）
第４回卒分	（昭和３年３月卒）
第18回卒分	（昭和17年３月卒）
第19回卒分	（昭和18年３月卒）
第20回卒分	（昭和19年３月卒）
第21回卒分	（昭和20年３月卒）
第22回卒分	（昭和20年３月卒）
第23回卒分	（昭和22年３月卒）
第24回卒分	（昭和24年３月卒）

庄内の味
ふるさとの味
うまいものなら なんでも
トー屋
〈酒田市東町〉☎0234(22)6011
無料 0120-22-1018

創業天保三年
小松屋
山形県酒田市日吉町1-2-1
TEL 0234—22—5151５
旧有楽町フードセンター店が装いも新たに「銀座インズ１」店としてオープンいたしました。
☎ 03-3564-5270
庄内米を使った酒田米菓のおせんべいも豊富にとり揃えて、お待ちいたしております。

未来へのスタンディング。
'91年11月、幕張新都心〈ワールドビジネスガーデン〉へ本社移転。



エレクトロニクスの総合商社
株式会社 栄電子
代表取締役社長 染谷英雄
（昭和35年卒業）
〒101 東京都千代田区外神田2-5-12 TEL 03(3257)1807(代)
神奈川中央営業所 横浜市戸塚区矢部町283 ☎045(881)2701(代)
西東京営業所 東京都昭島市玉川町3-10-1 ☎0425(45)6110(代)
北埼玉営業所 児玉郡上里町大字嘉美字立野南 ☎0495(33)7791(代)
新潟営業所 長岡市宮内長谷川609-1 ☎0258(36)3060(代)
山梨営業所 甲府市中央２－７－25 ☎0552(28)0335(代)
宮城出張所 仙台市青葉区中央2-11-22 ☎022(213)9845(代)
長野出張所 上田市中央２－12－７ ☎0268(26)1637(代)
熊本出張所 熊本市下南部町181－２ ☎096(389)6403(代)
ぶらっとホーム 東京都千代田区外神田1-11-4 ☎03(3251)7611(代)